

令和2年度学校評価（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>生徒の課題発見能力や問題解決能力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めるため組織的かつ持続的な授業改善に取り組みとともに、専門性の向上を図る教育に重点を置いた教育課程の編成をめざす。</p> <p>学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。</p>	<p>①主体的に学ぶ意欲の向上に向け、ICT利活用を研究主題とした組織的な授業改善を進めるとともに、専門性の向上を図る教育に重点を置いた教育課程を編成する。</p> <p>②生徒の主体的な学校行事の実施を支援する。</p>	<p>①日常的な授業見学、年2回の研究授業等により、ICTを利活用した組織的な授業改善を進める。また、新教育課程の編成のため、カリキュラム検討委員会を設置し、目的に即した教育課程を編成する。</p> <p>②生徒を中心とした体育祭、文化祭、球技大会等の学校行事を企画・実施する。</p>	<p>①授業評価の分析を活用した教科ごとの学習会を行ったか。年2回の研究授業・公開授業を実施できたか。ICT利活用による授業改善が行われたか。また、専門学科の特性に即した教育課程を編成できたか。</p> <p>②学校行事に係る生徒アンケートの満足度では、肯定的意見が80%を超えたか</p>
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>安心・安全な学校生活を送るための支援体制、指導体制を確立し、豊かな人間性や社会性を備えた人材を育成する。</p> <p>専門学科の特性に由来する部活動を含め、教育活動における部活動の取組を支援する。</p>	<p>①生徒の様々な状況に応じた組織的な支援と生活指導を行い、社会人としてのルール・マナーの定着を図る。</p> <p>②生徒の学校生活の充実を図るため、生徒の自発的な部活動の取組を支援する。</p>	<p>①生徒の困り感を見逃さず組織的な支援を行うとともに、身だしなみ指導と交通安全教育の充実を図る。</p> <p>②生徒の部活動加入率を維持する、かつ加入率の向上を図る。</p>	<p>①生徒の情報を共有し円滑な支援ができたか。また、身だしなみや交通安全のルール・マナーを徹底できたか。</p> <p>②生徒の部活動加入率が維持できたか、かつ加入率の向上が図られたか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
3	進路指導・支援	夢と活力ある産業人材の育成に向けて、専門高等学校の特性を生かし基礎的な知識や技能を体得して、社会的・職業的に自立する人物の育成を図る。	<p>①農商併置校としての特性を生かし、インターンシップや農業体験を通じて体得した知識や技能を将来の進路に活かすことができる。</p> <p>②学年に応じたガイダンスを計画的に行い入試や就職に見合った基礎学力やマナーの定着を図る。</p>	<p>①本校の特性や生徒のキャリアデザインに即して、インターンシップ先の新規開拓に力を入れる。</p> <p>②ガイダンスや出前授業等を幅広い分野で体験することで視野を広げるとともに、挨拶やマナーの大切さを体得する。</p>	<p>①就職希望者はインターンシップに参加することができたか。また、農業体験等に参加することで自己の進路選択等に有効であったか。</p> <p>②自分の専門科目やそれ以外の科目の知識や技能を身につけることができたか。また、挨拶などのマナーが身についたか。</p>
4	地域等との協働	<p>地域に根ざした様々な産業との連携を重視した教育に取り組むとともに、産業社会に役立つ産業社会の発展に寄与する人材を育む。</p> <p>地域に信頼される学校づくりを推進する。</p>	<p>①学科や校内外の枠を超え、様々な連携事業に関わることによって専門性を高める教育を推進する。</p> <p>②本校の魅力をPRできる機会をより多く持つ。</p>	<p>①直売所や各種連携事業の新規事業を立ち上げ、校内・校外問わず交流の場を多く持てる環境整備を行う。</p> <p>②コンテンツ管理システム(CMS)移行により、より多くの情報を迅速に学校ホームページで発信できるようにする。</p>	<p>①直売所や連携事業の新規立ち上げを行えたか。あるいは、新規立ち上げ事業を構想することができたか。</p> <p>②コンテンツ管理システム(CMS)移行により、本校の情報を週当たり1回程度、発信することができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>教員の働き方改革を推進するため、組織的な学校運営と校務の効率化を図るとともに、一層の事故防止に努める。</p> <p>教育環境の整備や学校防災の取組により、生徒・保護者・地域との信頼関係を構築する。</p>	<p>①教員の働き方改革推進の観点から、各種視聴覚・情報関連の設備や機器の整備、機器の管理、利用法の徹底を図る。</p> <p>②防災備蓄品の整備や災害発生時に対応した防災教育を図るとともに、教育環境の整備等を行う。</p>	<p>①新たに設置・配備された各種視聴覚機材や情報機器の管理方法や利用法を策定し、周知することで教員の働き方改革を推進する。</p> <p>②防災備蓄品の更新や整備、防災訓練等を計画的に進めるとともに、清掃用具の充実、校内美化に努める。</p>	<p>①WiFi関連について、管理簿等を通じた機器の管理が行えたか。また、その利用法を周知するための研修を行えたか。</p> <p>②防災備蓄品の整備・更新が進められたか。防災訓練が計画的に行われたか。また、清掃用具の整備や校内美化が進められたか。</p>